

2027年度

大原大学院大学

会計専門職大学院

会計研究科 会計専攻

入学試験要項

自己推薦入試
留学生特別入試
一般入試

大原大学院大学

目 次

大原大学院大学について	1
個人情報の取り扱いについて	1
I 募集概要	2
アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
修士論文の作成について	2
募集人数	3
入学時期	3
入学試験日程	3
入学試験会場	3
合格発表	3
補欠合格	3
出願にあたっての注意事項・確認事項	4
II 自己推薦入試・留学生特別入試・一般入試	5
各入試共通事項	5
自己推薦入試	6
留学生特別入試	8
一般入試	10
III 個別入学資格審査	12
IV 入学手続き	14
入学手続き期間	14
入学金・授業料等の納付	14
入学に際しての注意事項	15
入学辞退について	15
入学式等のご案内	15

各種入学試験の出願資格および出願書類一覧

大原大学院大学について

大原大学院大学は、公認会計士や税理士、企業財務などの高度な会計スペシャリストの養成に特化した、修業年限2年の会計専門職大学院です。学問としての会計学研究者を養成するための通常の大学院とは異なり、本学は、実務において高い専門性が求められる会計職従事者(高度会計専門職業人)の養成を目的としています。従って、本学は通常の大学院とは異なるいくつかの特徴を持っています。

1. 修了要件及び授与学位

修了要件	原則2年以上在学し、所定の必修科目及び選択必修科目を含めて、44単位(22科目)以上修得し、所定の成績基準(累積GPA1.50以上)を満たすこと。修士論文作成を志望する者は、さらに修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
授与学位	会計修士(専門職) 英文名: Master of Business Administration in Accounting

専門職学位課程である本学では、修士論文の作成は任意となります。本学では、会計学あるいは税法の研究に関する修士論文を作成して学位を得ることを志望する者に対して、論文指導を行っています。

2. 理論と実務の融合教育と充実した演習科目

会計専門職大学院の最大の魅力は、理論と実務の融合教育にあります。学会で確かな実績を誇る研究者教員と、実業界で豊富な経験を持つ実務家教員がバランスよく配置され、連携して指導にあたります。

配当科目は、基本科目、発展科目、応用・実践科目と段階的に設定され、充実した演習科目も多く取り入れています。

3. 公認会計士試験の受験科目免除申請

会計専門職大学院で所定の単位を修得し、修士(専門職)の学位を得た者は、公認会計士試験短答式試験の受験4科目のうち、財務会計論、管理会計論、監査論の3科目の受験免除申請ができます。

4. 税理士試験の受験科目免除申請

所定の単位を修得し、会計学あるいは税法の研究に関する修士論文を作成した上で、修士(専門職)の学位を得た者は、税理士試験の一部受験科目の免除申請(会計学は1科目、税法は2科目)ができます。ただし、会計学・税法いずれの場合も同分野の受験科目のうちいずれか一科目の合格後にしか申請は行えず、また免除は論文が国税庁に研究認定されることによって決定されます。

5. 課外学習による資格試験受験対策

本学では、学校法人大原学園の資格試験受験講座を受講できる課外学習制度を設けることで、公認会計士試験や税理士試験などの資格試験合格を目指す学生の受験対策を支援しています。入学手続きが終了すれば、入学前からでもこの制度の利用が可能です。なお、受講できる科目は、資格取得に最低限必要な科目で、実際に受験する科目に限るなど、受講にあたっては一定の条件があります。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の志願者を特定できる個人情報は、大原学園グループ「個人情報保護規程」にもとづいて適切に管理いたします。出願処理に係る一連の業務、及び出願に関する統計資料作成の目的に必要な範囲を超えて利用することはありません。

I 募集概要

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

大原大学院大会計研究科では、会計の公正性を確保することのできる高度な知識と技能を兼ね備え、さらに高い倫理観を持ち、国際感覚を身に付けた高度な会計専門職業人として活躍することを目指す学生を受け入れます。具体的には、

- ・ 公認会計士
- ・ 税理士
- ・ 企業及び公的機関の財務部門のスペシャリスト

を目指す学生を受け入れます。

目的達成のための意思をしっかりと持ち、その達成を願う学生を本学は募集します。そのために、簿記学力の程度や保有資格など志願者の特性に応じた様々な選考方法により、広く学生を受け入れます。具体的な選考方法は下記のとおりです。

入試種別	対象者と選考方法	掲載頁
自己推薦入試	所定の要件を充足する者を対象として、書類審査(自己推薦書)及び資格取得状況並びに志望動機等や出願書類に関する面接試験により選考を行います。	6 頁
留学生特別入試	留学生を対象として、基礎学力や学習意欲等を重視し、書類審査(自己推薦書、小論文)と志望動機等や出願書類に関する面接試験により選考を行います。	8 頁
一般入試	会計学の筆記試験(大学卒業程度の問題)、書類審査及び志望動機等や出願書類に関する面接試験により選考を行います。	10 頁

修士論文の作成について

本学では、会計学あるいは税法の研究に関する修士論文を作成して学位を得ることを志望する者に対して、特に論文指導を行っています。修士論文の作成を志望する者は、以下を確認の上、出願して下さい。

- (1) 税理士になることを目指す者に限ります。
- (2) 研究分野は会計学か税法のいずれかです。ただし、会計学は財務会計分野に限ります。
- (3) 志望の表明及び研究分野(会計学/税法)の申告は、入学試験の出願時のみとします。入学後の志望の表明及び研究分野の変更は認めません。
- (4) 指導教員を指定して出願することはできません。
- (5) 税理士試験受験科目の免除申請は、論文と同じ研究分野(会計学/税法)の受験科目のうちいずれか一科目の合格後にしか行えず、また免除は論文が国税庁に研究認定されることによって決定されることをご承知置き下さい。
- (6) 修士論文の作成は、自己推薦入試、一般入試で志望できます。留学生特別入試では、修士論文の作成を志望することはできません。

募集人数

90名

入学時期

2027年4月

入学試験日程

	入試種別	出願期間(期日必着)	試験日	合格発表日
9月募集	自己推薦入試	2026年9月2日(水)～9月11日(金)	9月19日(土)	9月23日(祝)
10月募集	自己推薦入試	2026年9月23日(祝)～10月2日(金)	10月10日(土)	10月14日(水)
11月募集	自己推薦入試	2026年10月28日(水)～11月6日(金)	11月14日(土)	11月18日(水)
12月募集	留学生特別入試	2026年11月18日(水)～11月27日(金)	12月5日(土)	12月9日(水)
1月募集	自己推薦入試	2027年1月6日(水)～1月15日(金)	1月23日(土)	1月27日(水)
2月募集	自己推薦入試	2027年1月27日(水)～2月5日(金)	2月13日(土)	2月17日(水)
3月募集	一般入試	2027年2月10日(水)～2月19日(金)	筆記 2月27日(土)	3月10日(水)
			面接 3月6日(土)	

※ 入試種別により募集月が異なりますのでご注意ください。

入学試験会場

大原大学院大学（東京都千代田区西神田 1-2-10 裏表紙地図参照）

合格発表

入学試験の結果については、上記発表日に本学ホームページ(裏表紙参照)にてお知らせいたします。電話やメールによる可否のお問い合わせは受け付けません。合格者には合格通知等の書類を郵送します(合格発表日に発送します)。

補欠合格

正規合格者の入学手続状況により、補欠合格を出す場合があります。補欠合格者についても、合格発表日に本学ホームページにてお知らせし、合格通知等の書類を郵送します。

1. 入学志願書や自己推薦書等の所定の用紙は、本学ホームページの各種様式ダウンロードコーナー《 <https://www.o-hara.ac.jp/grad/dl.html> 》からダウンロードしてください。
2. 出願書類に不備があった場合、出願は受理されません。
3. 受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
4. 出願後の出願書類の差し替え、変更、内容の修正等は認めません。
5. 出願書類の内容に、虚偽あるいは著しい誇張等があった場合には、「出願資格」あるいは合格後であっても「入学資格」を取り消します。
6. 試験の公平性の観点から出願書類(自己推薦書, 小論文, 研究計画書等を含む)の作成において, 生成系人工知能(生成 AI)のみによって作成されたものは, 志願者が作成した出願書類とは認められません。
7. 複写(コピー)の提出が認められている出願書類については, 面接試験時に原票の確認を行うことがあります。
8. 複写書類は, 原票の大きさが A4 版以下のものはすべて A4 版の用紙に原寸のまま複写して提出して下さい。原票の大きさが A4 版を超える場合は, 適切な用紙を使用し原寸のまま複写して提出して下さい。
9. 外国籍の者は, 入試の種別を問わずパスポート(氏名, 生年月日の記載された頁)及び在留カード(両面)を A4 版の用紙に原寸のまま複写して提出して下さい。
10. 外国籍の者(永住権を持っている者を除く。)で, p.8 の 1. 出願要件(2)①から④に記載する日本語能力に関する認定を受けている者は, 認定証明書等の複写(コピー)を提出してください。
11. 出願書類は, 片面印刷でホチキス等で止めず, クリアファイルに入れて提出して下さい。
12. 出願書類の証明書等の氏名が出願時と異なる場合には, 氏名が変わったことが確認できる書類(戸籍抄本など)を出願時に提出して下さい。
13. 納入した入学検定料は, 出願が受理された場合, 受験あるいは入学の有無にかかわらず返還しません。出願が受理されなかった場合に限り返還しますが, その際, 普通為替手数料は志願者負担となります。
14. 卒業見込みの出願資格で受験し合格した者が, 2027 年 3 月までに卒業できなかった場合, 入学許可を取り消します。
15. 本学は, 原則として二重学籍を認めません。
16. 個別入学資格審査を申請する者は, 出願前の定められた期間(p.13 参照)に, 個別入学資格審査の申請書類を提出して下さい。審査で出願資格が認められた場合, それ以降の本年度内に実施されるすべての入試に適用されます。
17. 障がい等のために, 受験及び修学上の配慮を希望する者は, 出願前に事務局入試係までお問い合わせ下さい。

＜学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項＞

入学試験当日, 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症, インフルエンザ, 麻疹, 風疹等)に罹患し治癒していない場合は, 他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので, 受験をご遠慮いただく場合があります。対象の者は必ず事務局入試係(03-3237-8760)までご相談下さい。状況に応じて追試, 別室受験の対応を検討することがあります。ただし, 病状により医師において伝染のおそれがないと認められた場合は, この限りではありません。

II 自己推薦入試・留学生特別入試・一般入試

■ 各入試共通事項

自己推薦入試・留学生特別入試・一般入試の各入試に共通する事項

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者
- ② 学士の学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の学校が行う通信教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において外国の大学の課程を有するものとして指定された教育施設において、その課程を修了した者
- ⑥ 指定された専修学校の専門課程(4年制)を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 本学の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月末までに22歳に達する者

※ 上記⑧の個別入学資格審査は、①～⑦に該当しない者が、本学への出願資格を得られるかどうかを事前に審査するものです。個別入学資格審査の手続きにつきましては、p.12を参照して下さい。

※ 上記③、④、⑤について、該当するか不明の者は出願前に事務局入試係にお問い合わせ下さい。

2. 入学検定料 35,000円

普通為替証書にて納付して下さい。

普通為替証書は、ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口で購入できます。

受取人欄は未記入のまま、他の出願書類とともに提出して下さい。

3. 出願方法

出願期間内に角2封筒を用いて「大原大学院大学 事務局入試係」(裏表紙参照)宛に簡易書留で出願書類一式を郵送して下さい。出願期日必着(厳守)です。なお本学窓口で出願書類は受け付けません。郵送に際しては、本学ホームページ(p.4参照)より出願用封筒表紙(本学所定の用紙)をダウンロードし、印刷したものを角2封筒に貼付してください。

なお、出願書類の到着確認に関する個別のお問い合わせには対応しておりません。配達状況につきましては、日本郵便のウェブサイトにある郵便追跡サービスにてご確認ください。

4. 受験票の交付

受験票は出願期間終了後、出願が受理された者に対してメールで送信します。

入学志願書に記載されたメールアドレスに送信しますので、正確に入力してください。

grad@mail.o-hara.ac.jpからのメールを受信できるよう端末機器等の設定をお願いします。

試験日の2日前になってもメールが届かない場合は、事務局入試係までご連絡ください。

■ 自己推薦入試

所定の要件を充足する者を対象として、書類審査(自己推薦書)及び資格取得状況、並びに志望動機等や出願書類に関する面接試験(口頭試問を含む)により選考を行います。

修士論文作成希望者は、研究計画書についても書類審査を行います。

1. 出願要件

以下のいずれかに該当する者

- ① 日商簿記検定試験 2 級以上に合格している者
- ② 全経簿記検定試験 1 級以上に合格している者
- ③ 税理士試験一部科目に合格している者
- ④ 公認会計士試験短答式試験に合格している者
- ⑤ U. S. C P A(米国公認会計士)試験一部科目に合格している者

2. 出願書類 ※p.4の「出願にあたっての注意事項・確認事項」を必ずご確認ください。

a. 入学志願書	本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上でA4の用紙に印刷し、写真を貼付して提出して下さい。(手書きの志願書は受理できません。) 貼付する写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面、カラーで最近3ヵ月以内に撮影したもの(修整・加工は不可)に限ります。なお、写真の裏面には氏名を記入して下さい。
b. 成績証明書 (原本※1)	大学や専修学校など出願資格にかかわる最終学歴のもの。 (大学院を修了した者は、大学院の成績証明書も、所属大学に編・転入学した場合はそれ以前の大学等の成績証明書も併せて提出して下さい。)
c. 卒業(見込)証明書 (原本※1)	出願資格にかかわる大学や専修学校の卒業(見込)証明書など。 (大学院を修了した者は、大学院の修了証明書も提出して下さい。) 成績証明書に卒業(修了)年月の記載がある場合は提出不要です。
d. 出願資格等の証明書 (コピー)	出願要件にかかわるすべての資格・検定等の合格通知書などの複写
e. 自己推薦書	本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、今までに取得した資格、修得した知識、社会経験や業績などをもとに、自己を推薦(自己アピール)する文章を1200字以内で自由に記載した上でA4の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの自己推薦書は受理できません。)
f. 普通為替証書	入学検定料 35,000 円 受取人欄は未記入のまま 提出して下さい。
g. 研究計画書	<u>修士論文作成志望者のみ</u> 提出して下さい。本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上でA4の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの研究計画書は受理できません。)

※1 原則として証明書の原本提出が求められますが、外国の大学その他の教育機関を卒業した者で、それらの教育機関において証明書の再発行が認められていないなど、やむを得ない事情により原本を提出できない場合には、例外的に「原本証明がなされたコピー (Certified True Copy)」の提出を認めます。

「原本証明がなされたコピー」とは、原本の写しに対し、当該証明書の発行機関、または公証人、公証役場その他これらに準ずる公的機関が、当該写しが原本と相違ないことを、公印又は署名によ

り証明したものをいいます。

なお、日本語又は英語以外の言語で作成された証明書については、日本語訳を添付してください。
翻訳文には翻訳者の署名を付し、その署名について公証人による署名認証を受けるものとします。

3. 選考方法

(1) 書類審査

自己推薦書，保有資格にもとづき書類審査を行います。

修士論文作成希望者については，研究計画書の書類審査も行います。

(2) 面接試験(20分～30分，午前9時より順次開始予定)

志望動機等や出願書類に関する面接(口頭試問を含む)を行います。

※ 面接試験の開始時刻は，受験票送付時に志願者ごとに連絡します。

出願要件にかかわる資格を保有している者は，面接試験時に確認を行う場合がありますので，合格証書の原本(コピー不可)を持参して下さい。

■ 留学生特別入試

留学生を対象として、基礎学力や学習意欲等を重視し、書類審査(自己推薦書、小論文)と志望動機等や出願書類に関する面接試験(口頭試問を含む)により選考を行います。

1. 出願要件

以下の(1)、(2)及び(3)のすべてに該当する者。ただし、日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない場合は、以下の(1)、(2)、(3)及び(4)のすべてに該当する者。

- (1) 留学生として在留資格を有し、2027 年 3 月末までの在留期間を有している者
- (2) 以下のいずれかに該当する者
 - ① 日本語能力試験で N 2 以上を認定されている者
 - ② J-TEST で A-C レベル試験(C 級)600 点以上を認定されている者
 - ③ 日本留学試験(日本語)で 220 点(記述を含む)以上を得点している者
 - ④ NAT-TEST で 2 級以上に合格している者
- (3) 修士論文の作成を志望しない者
- (4) 日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない者は、入学手続終了後、本学の入学前簿記学習制度を利用して学習し、日商簿記検定試験 2 級に合格する意志と用意のある者

2. 出願書類 ※p.4の「出願にあたっての注意事項・確認事項」を必ずご確認ください。

a. 入学志願書	<p>本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上で A 4 の用紙に印刷し、写真を貼付して提出して下さい。(手書きの志願書は受理できません。)</p> <p>貼付する写真は、縦 4cm×横 3cm、上半身、脱帽、正面、カラーで最近 3 ヶ月以内に撮影したもの(修整・加工は不可)に限ります。なお、写真の裏面には氏名を記入して下さい。</p>
b. 成績証明書 (原本※1)	<p>大学や専修学校など出願資格にかかわる最終学歴のもの。 (大学院を修了した者は、大学院の成績証明書も、所属大学に編・転入学した場合はそれ以前の大学等の成績証明書も併せて提出して下さい。)</p>
c. 卒業(見込)証明書 (原本※1)	<p>出願資格にかかわる大学や専修学校の卒業(見込)証明書など。 (大学院を修了した者は、大学院の修了証明書も提出して下さい。) 成績証明書に卒業(修了)年月の記載がある場合は提出不要です。</p>
d. 出願資格等の証明書 (コピー)	<p>(イ) 出願要件(1)にかかわるパスポート(氏名、生年月日の記載された頁)及び在留カードの複写</p> <p>(ロ) 出願要件(2)にかかわる認定書等の複写</p> <p>※日商簿記検定試験 2 級以上に合格している場合は、合格を確認できる書類(コピー可)を提出してください。</p>
e. 自己推薦書	<p>本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、今までに取得した資格、修得した知識、社会経験や業績などをもとに、自己を推薦(自己アピール)する文章を 1200 字以内で自由に記載した上で A 4 の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの自己推薦書は受理できません。)</p> <p>また、日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない者は、入学前簿記学習制度で学習する意欲についても言及して下さい。</p>
f. 小論文	<p>本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、用紙に記されている課題について 2000 字程度で論じ、A 4 の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの小論文は受理できません。)</p>
g. 普通為替証書	<p>入学検定料 35,000 円 <u>受取人欄は未記入のまま</u>提出して下さい。</p>

※1 原則として証明書の原本提出が求められますが、外国の大学その他の教育機関を卒業した者で、それらの教育機関において証明書の再発行が認められていないなど、やむを得ない事情により原本を提出できない場合には、例外的に「原本証明がなされたコピー (Certified True Copy)」の提出を認めます。

「原本証明がなされたコピー」とは、原本の写しに対し、当該証明書の発行機関、または公証人、公証役場その他これらに準ずる公的機関が、当該写しが原本と相違ないことを、公印又は署名により証明したものをいいます。

なお、日本語又は英語以外の言語で作成された証明書については、日本語訳を添付してください。翻訳文には翻訳者の署名を付し、その署名について公証人による署名認証を受けるものとします。

3. 選考方法

(1) 書類審査

自己推薦書及び小論文について書類審査を行います。

(2) 面接試験 (20分～30分、午前9時より順次開始予定)

志望動機等や出願書類に関する面接(口頭試問を含む)を行います。

※ 面接試験の開始時刻は、受験票送付時に志願者ごとに連絡します。

出願書類 d. の出願要件にかかわる複写(コピー)書類について、面接試験時に原票の確認を行う場合がありますので、当日持参して下さい。

4. 合格後の入学前簿記学習について(日商簿記検定試験2級以上を保有していない者のみ)

日本商工会議所主催の日商簿記検定試験2級以上を保有していない者は、入学手続き完了後、本学教員による簿記の学習指導を必ず受ける必要があります。

会計専門職大学院である本学において、入学後さまざまな講義科目や演習科目を履修するにあたって、日商簿記検定試験2級以上の会計知識は学修効果を上げるために必須の知識となります。

- (1) 本学教員による簿記や会計知識習得のための指導を必ず受けていただきます。各人の状況によって指導頻度等は異なりますが、最低週2回程度は数時間の指導を受ける必要があります。
- (2) 上記指導と並行して、大原学園が運営する簿記受験対策講座も受講していただきます。入学手続きが完了している方は、無料でお申込みできます。ただし、入学前簿記学習制度で学習を開始した後に入学を辞退する場合には、受講済みの講座受講料は辞退者本人の負担となります。
- (3) 学年担任教員と学習計画を立案し、適宜受験可能なタイミングで日本商工会議所主催の日商簿記検定の3級や2級を実際に受験していただきます。
- (4) 本学教員による指導や簿記受験講座の出席不良など、本学への入学が困難と判断された場合には、合格を取り消し、入学を許可しないことがあります。
- (5) 日商簿記検定2級に合格するまで、原則として簿記受験対策講座以外の課外学習制度を利用することはできません。

■ 一般入試

会計学の筆記試験及び書類審査、並びに志望動機等や出願書類に関する面接試験(口頭試問を含む)により選考を行います。

修士論文作成希望者は、研究計画書についても書類審査を行います。

1. 出願書類 ※p.4の「出願にあたっての注意事項・確認事項」を必ずご確認ください。

a. 入学志願書	本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上でA4の用紙に印刷し、写真を貼付して提出して下さい。(手書きの志願書は受理できません。) 貼付する写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面、カラーで最近3ヵ月以内に撮影したもの(修整・加工は不可)に限ります。なお、写真の裏面には氏名を記入して下さい。
b. 成績証明書 (原本※1)	大学や専修学校など出願資格にかかわる最終学歴のもの。 (大学院を修了した者は、大学院の成績証明書も、所属大学に編・転入学した場合はそれ以前の大学等の成績証明書も併せて提出して下さい。)
c. 卒業(見込)証明書 (原本※1)	出願資格にかかわる大学や専修学校の卒業(見込)証明書など。 (大学院を修了した者は、大学院の修了証明書も提出して下さい。) ただし、成績証明書に卒業(修了)年月の記載がある場合は提出不要です。
d. 出願資格等の証明書 (コピー可)	日商簿記検定試験2級以上に合格している場合は、合格を確認できる書類を提出してください。
e. 普通為替証書	入学検定料 35,000 円 <u>受取人欄は未記入のまま</u> 提出して下さい。
f. 研究計画書	<u>修士論文作成志望者のみ</u> 提出して下さい。本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上でA4の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの研究計画書は受理できません。)

※1 原則として証明書の原本提出が求められますが、外国の大学その他の教育機関を卒業した者で、それらの教育機関において証明書の再発行が認められていないなど、やむを得ない事情により原本を提出できない場合には、例外的に「原本証明がなされたコピー (Certified True Copy)」の提出を認めます。

「原本証明がなされたコピー」とは、原本の写しに対し、当該証明書の発行機関、または公証人、公証役場その他これらに準ずる公的機関が、当該写しが原本と相違ないことを、公印又は署名により証明したものをいいます。

なお、日本語又は英語以外の言語で作成された証明書については、日本語訳を添付してください。翻訳文には翻訳者の署名を付し、その署名について公証人による署名認証を受けるものとします。

2. 選考方法

(1) 筆記試験(60分、午前9時開始予定)

- ① 試験は、財務会計分野と管理会計分野の両方から出題します。
- ② 出題レベルは大学卒業程度の問題で、理論(記述)問題及び計算問題を出題します。
- ③ 筆記用具(鉛筆もしくはシャープペンシル)、消しゴム、計算器機、時計(スマートウォッチ不可)を持参してください。
- ④ スマートフォン等の計算機機能は使用できません。
- ⑤ 本筆記試験の成績により面接試験受験者を選抜します。

(2) 面接試験 (20 分～30 分)

- ① 筆記試験の結果により面接試験対象者として選抜された者に対して実施します。
- ② 面接試験の日時・場所等の詳細は、対象者へ個別に連絡します。
- ③ 志望動機等や出願書類に関する面接(口頭試問を含む)を行います。
- ④ 修士論文作成希望者については、研究計画書の書類審査を行います。

3. 合格後の入学前簿記学習について(日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない者のみ)

日本商工会議所主催の日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない者は、入学手続き完了後、本学教員による簿記の学習指導を必ず受ける必要があります。

会計専門職大学院である本学において、入学後さまざまな講義科目や演習科目を履修するにあたって、日商簿記検定試験 2 級以上の会計知識は学修効果を上げるために必須の知識となります。

- (1) 本学教員による簿記や会計知識習得のための指導を必ず受けていただきます。各人の状況によって指導頻度等は異なりますが、最低週 2 回程度は数時間の指導を受ける必要があります。
- (2) 上記指導と並行して、大原学園が運営する簿記受験対策講座も受講していただきます。入学手続きが完了している方は、無料でお申込みできます。ただし、入学前簿記学習制度で学習を開始した後に入學を辞退する場合には、受講済みの講座受講料は辞退者本人の負担となります。
- (3) 学年担任教員と学習計画を立案し、適宜受験可能なタイミングで日本商工会議所主催の日商簿記検定の 3 級や 2 級を実際に受験していただきます。
- (4) 本学教員による指導や簿記受験対策講座の出席不良など、本学への入学が困難と判断された場合には、合格を取り消し、入学を許可しないことがあります。
- (5) 日商簿記検定 2 級に合格するまで、原則として簿記受験対策講座以外の課外学習制度を利用することはできません

Ⅲ 個別入学資格審査

個別入学資格審査とは、2027年3月末までに22歳に達する者で、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国の3年制大学(専科等)の卒業生などp.5「1. 出願資格」①～⑦に該当しない者を対象として書類審査を行い、審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合、本学入試への出願を認めるものです。審査料は不要です。

個別入学資格審査を受け、出願資格を認められた場合に限り本学の入学試験を受験できます。

1. 申請書類

(1) 個別入学資格審査申請書

本学ホームページより所定の用紙をダウンロードし、必要事項を入力した上でA4の用紙に印刷して提出して下さい。(手書きの申請書は受理できません。)

(2) 2027年3月末までに22歳に達することが確認できる書類

運転免許証、健康保険証など生年月日が確認できるもの(複写(コピー)可)。ただし、他の申請書類で生年月日が証明できる場合には、提出の必要はありません。

(3) その他の書類

① 最終出身学校等の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書(原本※1)

② 最終出身学校等の成績証明書または調査書(原本※1)

③ 最終出身学校等の教育内容等が確認できるもの

学校案内、学則、履修要項、シラバス等、カリキュラムや卒業要件等が確認できるもの

④ 社会での実務経験等が確認できるもの

実務経験の期間及び内容を証明する記載が含まれているもの

(勤務先で発行する就業証明書、ハローワークで発行される雇用保険加入履歴など、マイナポータルの雇用保険加入履歴を印刷したものでも可)

⑤ (1)の申請書の「取得資格等」に記載した資格の取得が確認できる証明書

⑥ その他、資格証明書等、本人が提出に値すると思う書類(複写(コピー)可)。

⑦ 上記の証明書等の氏名が申請時と異なる場合は、氏名が変わったことが確認できる書類(戸籍抄本など)

※1 原則として証明書の原本提出が求められますが、外国の大学その他の教育機関を卒業した者で、それらの教育機関において証明書の再発行が認められていないなど、やむを得ない事情により原本を提出できない場合には、例外的に「原本証明がなされたコピー(Certified True Copy)」の提出を認めます。

「原本証明がなされたコピー」とは、原本の写しに対し、当該証明書の発行機関、または公証人、公証役場その他これらに準ずる公的機関が、当該写しが原本と相違ないことを、公印又は署名により証明したものをいいます。

なお、日本語又は英語以外の言語で作成された証明書については、日本語訳を添付してください。翻訳文には翻訳者の署名を付し、その署名について公証人による署名認証を受けるものとします。

2. 申請手続き

「5. 個別入学資格審査申請期間及び結果送付日」の申請期間内に、申請書類を「大原大学院大学 事務局入試係」(裏表紙参照)宛に、簡易書留にて郵送して下さい。出願期限必着(厳守)です。なお本学窓口で出願書類は受け付けません。

郵送に際しては、本学ホームページより出願用封筒表紙(本学所定の用紙)をダウンロードし、印刷したものを角2封筒に貼付してください。

出願資格が認められて初めて入学試験に出願ができますので、十分な時間をとって申請手続きを行って下さい。

3. 審査方法

書類審査により、申請者が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるかどうかを、学習歴、実務経験、保有資格等を総合的に判断し審査します。

4. 審査結果の通知

審査結果は、郵送により通知します(「5. 個別入学資格審査申請期間及び結果送付日」の結果送付日に発送します)。電話やメールによる結果のお問い合わせは受け付けません。

5. 個別入学資格審査申請期間及び結果送付日

	申請期間(期日必着)	結果送付日
8月審査	2026年7月23日(木)～8月3日(月)	8月5日(水)
9月審査	2026年8月27日(木)～9月7日(月)	9月9日(水)
10月審査	2026年10月8日(木)～10月19日(月)	10月21日(水)
12月審査	2026年12月3日(木)～12月14日(月)	12月16日(水)
1月審査	2027年1月4日(月)～1月12日(火)	1月14日(木)
2月審査	2027年1月28日(木)～2月8日(月)	2月10日(水)

※ 上表は、各募集月の入試の出願期間を目安に記しています。

6. 入試出願にあたっての注意

個別入学資格審査で出願資格が認められれば、それ以降の本年度内に実施されるすべての入学試験に適用されます。

通知した審査結果は、各入試種別の出願書類において、大学や専修学校の卒業証明書に代わる出願資格の証明書となります。大切に保存し、入試出願時に原本を出願書類として提出して下さい。

※ それぞれの入試の出願書類のうち、個別入学資格審査で提出したものと重複するものについては再提出の必要はありません。ただし、複写(コピー)書類については面接試験時に確認を行う場合がありますので、原票を持参して下さい。

IV 入学手続き

入学手続きは、合格通知に同封する「入学手続きに関するご案内」にしたがって行って下さい。

入学手続き期間

下記の期間内に、入学手続きを完了して下さい。期日必着です。期間内に入学手続きを完了しなかった場合には、入学を辞退したものとします。

	入試種別	手続き期間(期日必着)
9月募集	自己推薦入試	2026年9月24日(木)～10月6日(火)
10月募集	自己推薦入試	2026年10月15日(木)～10月27日(火)
11月募集	自己推薦入試	2026年11月19日(木)～12月1日(火)
12月募集	留学生特別入試	2026年12月10日(木)～12月22日(火)
1月募集	自己推薦入試	2027年1月28日(木)～2月9日(火)
2月募集	自己推薦入試	2027年2月18日(木)～3月2日(火)
3月募集	一般入試	2027年3月11日(木)～3月18日(木)

入学金、授業料等の納付

入学金及び1年次春学期の授業料と施設費(合計870,000円)を、上記の入学手続き期間内に、以下に指定する口座に振り込んで下さい。

	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
納付期限	入学手続き 期間内	2027年 8月27日(金)	2028年 2月25日(金)	2028年 8月28日(月)
入学金 ^{※1}	200,000円	—————	—————	—————
授業料 ^{※2}	570,000円	570,000円	570,000円	570,000円
施設費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
合計	870,000円	670,000円	670,000円	670,000円

※1 大原学園各校の所定の課程(専門職大学院, 専門課程本科, 日本語学院)を卒業した方あるいは卒業見込みの方は入学金の減免が受けられる場合があります。減免を希望する方は、出願時に卒業(見込)証明書を提出して下さい。

※2 私費外国人留学生授業料減免制度の適用対象者は、授業料の20%(各期570,000円×20%=114,000円)が2年間減免されます。

(注意) 授業で使用する教材費は、授業料及び施設費に含まれていません。各自ご用意いただきます。

【振込先】

銀行支店名	三菱UFJ銀行 神保町支店
預金種類	普通預金
口座番号	No. 2356953
口座名義人	オオハラダイガクインダイガク 大原大学院大学

入学に際しての注意事項

本学の学生生活では、パソコン、スマートフォンなどの電子機器による資料作成や、E-mailによる教員とのやり取り、学生への連絡があります。

本学の入学に際しては、パソコン、スマートフォンなどの電子機器が使用できること、E-mailでの連絡ができることが必要となりますので、予めご承知置き下さい。

入学辞退について

入学手続きを完了した後、やむを得ない事由により2027年03月26日(金)までに入学辞退を申し出た場合は、入学金以外の納付金を返還します。

なお、すでに入学前学習制度を利用して、大原学園の資格受験講座等を受講している場合には、受講済みの講座受講料は辞退者本人の負担となります。

入学式等のご案内

入学手続きが完了した方に、入学式及びオリエンテーションなどの日時を記載した「入学のしおり」を送付します。

各種入学試験の出願資格及び出願書類一覧

*出願に際しては、掲載頁及び「出願にあたっての注意事項・確認事項」(p. 4) を必ずご確認ください。

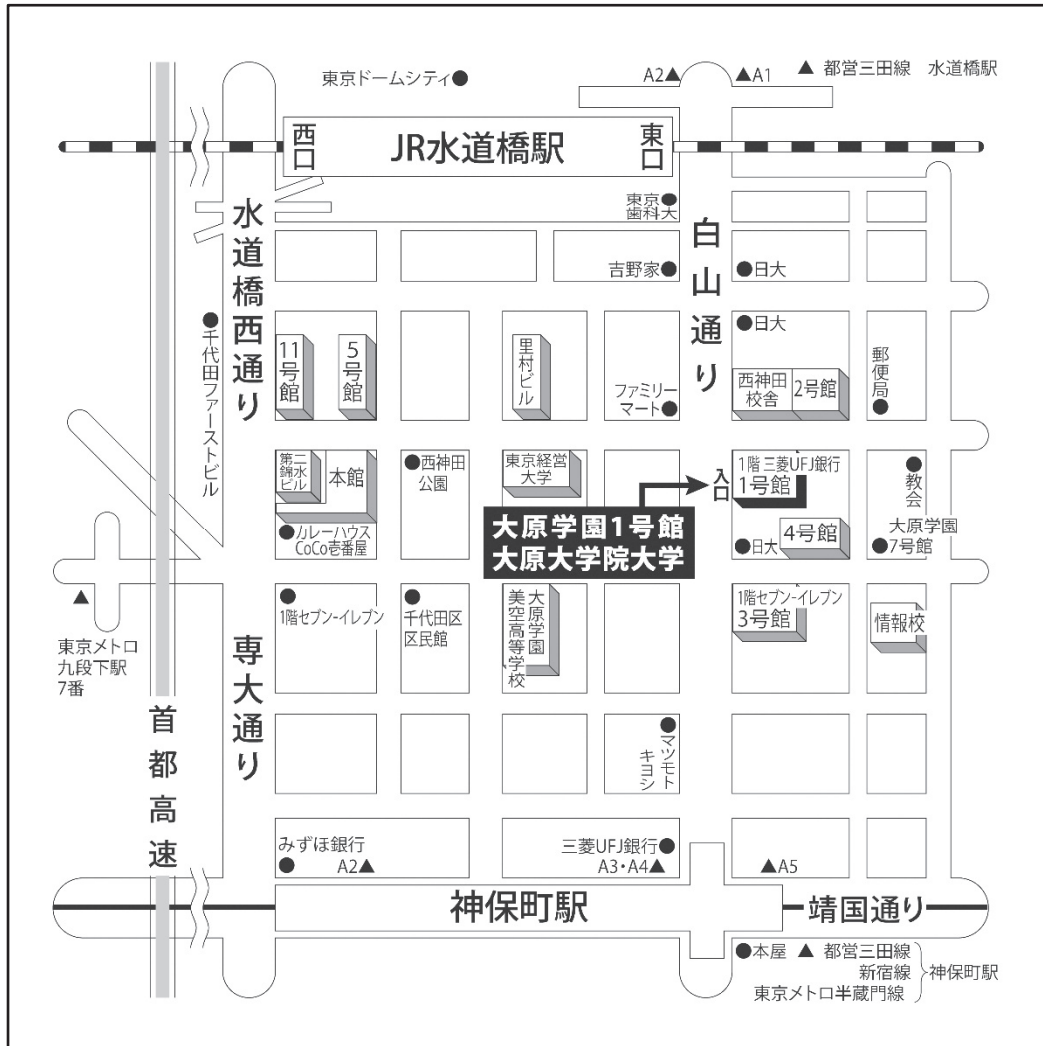
入試種別		自己推薦入試	留学生特別入試	一般入試
		掲載頁	6 頁	8 頁
出 願 資 格		次のいずれかに該当する者 ① 大学を卒業した者、または 2027 年 3 月までに卒業見込みの者 ② 学士の学位を授与された者、または 2027 年 3 月までに授与される見込みの者 ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者 ④ 我が国において、外国の学校が行う通信教育における 16 年の課程を修了した者 ⑤ 我が国において外国の大学の課程を有するものとして指定された教育施設において、その課程を修了した者 ⑥ 指定された専修学校の専門課程(4 年制)を修了した者、または 2027 年 3 月までに修了見込みの者 ⑦ 文部科学大臣の指定し ⑧ 本学の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月末までに 22 歳に達する者		
出 願 要 件		以下のいずれかに合格している者 ①日商簿記検定試験 2 級以上 ②全経簿記検定試験 1 級以上 ③税理士試験一部科目 ④公認会計士試験短答式試験 ⑤米国公認会計士試験一部科目	①留学生として在留資格を有し 2027 年 3 月末までの在留期間を有している者 ②以下のいずれかに該当する者 ・日本語能力試験で N 2 以上を認定されている者 ・J-TEST で A-C レベル(C 級)600 点以上を認定されている者 ・日本留学試験(日本語)で 220 点(記述を含む)以上を得点している者 ・NAT-TEST で 2 級以上に合格している者 ③修士論文の作成を志望しない者 ④日商簿記検定試験 2 級以上を保有していない者は、入学手続き終了後、本学の入学前簿記学習制度を利用して学習し、日商簿記検定試験 2 級に合格する意志と用意があること	なし
出 願 書 類	入 学 志 願 書	○	○	○
	研 究 計 画 書	論文志望者のみ	—	論文志望者のみ
	成 績 証 明 書 (原 本)	○	○	○
	卒 業 証 明 書 等 (原 本)	○	○	○
	資 格 取 得 証 明 等	○	※1	※1
	自 己 推 薦 書	○	○	—
	小 論 文	—	○	—
	日 本 語 能 力 の 証 明 (永住許可取得者を除く)	外国籍の者のみ※2	○	外国籍の者のみ※2
	パ ス ポ ー ト ・ 在 留 カ ー ド の 写 し	外国籍の者のみ(必須)	○	外国籍の者のみ(必須)
	写 真	○	○	○
入 学 検 定 料 ※3	○	○	○	

※1 日商簿記検定試験 2 級以上に合格している場合は、合格を確認できる書類(コピー可)を提出すること。

※2 P. 8 1. (2)①から④の認定を受けている者は、その認定証明書等を提出すること。

※3 出願書類の「入学検定料」は普通為替証書を購入の上、受取人欄は未記入のままで提出すること。

大原大学院大学



※JR「水道橋駅」・地下鉄「神保町駅」より徒歩5分
地下鉄「九段下駅」より徒歩10分

<お問い合わせ／書類送付先>

大原大学院大学 事務局入試係

住所 〒101-0065 東京都千代田区西神田 1-2-10

電話 03-3237-8760 (平日 10:00~18:00)

E-mail grad@mail.o-hara.ac.jp

ホームページ <https://www.o-hara.ac.jp/grad/>



0557420017205